

宝仙学園 教育の試み

医学進学コース 「医師志望論」(高1) 授業レポート

～私たちはなぜ医師を志望するのか～

本校は2024年度より順天堂大学の系属校となり、通称名を順天堂大学系属理数インター中学校高等学校としました。これに伴い、2025年度新入学年(中1・高1)から医学進学コースを設置しました。このコース特有の授業の1つである『医師志望論』の授業の様子について紹介します。

本校は、2025年度より医学進学コースを新入学年(中1・高1)に設置しました。このコースでは基本的に医学部医学科の進学を目指し、それに耐える学力を早い段階から習得するとともに、将来 医療業界、とりわけ医師を「なぜ目指すのか」という動機づけを明確かつ醸成し、表現できるようになることを目的としています。このような取り組みの1つとして『医師志望論』(高1)があります。

『医師志望論』では、現代医療が「チーム医療」と言われるように、まずは 実際にどのような人々が関わっているのか、現状を知ることから始めます。その中で、各職種の役割や今まで生徒が聞いたこともなかった職種を知っていきます。そして、様々なプロフェッショナルの中で医師はどのような立ち位置で、どのような固有の役割をもってその責任を果たすものなのか、また自身が医療の中でどの立ち位置で活躍していきたいのかをイメージしていきます。



医師志望論ノート

授業風景



〈授業風景〉付箋に書き出したものをもとにグループで話し合う。

この日の授業では、医療業界の職種を付箋紙に書き出し、それぞれの職種の関わりに合わせその付箋紙を貼り付けることで、医療業界を俯瞰してイメージしていきました。そして、グループごとにまとめた資料を合わせ充実させていきました。生徒たちは、当初思っていたよりも医療業界は分野の幅が広くかつ細分化されており、それぞれのプロフェッショナルが集まった業界であることに気付いたようでした。その中で、自身がどのように関わっていきたいのか、思いを巡らす材料がそろってきました。

今後は、これまでの授業等で見出してきたことをベースにして、地域における医療の倫理的・社会的な課題などについて考えていきます。また、夏季にはサマーセミナーを実施し、新潟県の病院や大学に協力いただき、地域医療の現場を実際に見て、「医師になる」より深い動機づけを醸成していく予定です。

【お問い合わせ先】 学校法人 宝仙学園 順天堂大学系属理数インター 中学校・高等学校

〒164-8628 東京都中野区中央2-28-3

TEL : 03-3371-7103

FAX (入試広報部) : 03-3371-7128